

日本歯周病学会 第35回歯科衛生士教育講演会報告

特定非営利活動法人日本歯周病学会歯科衛生士教育講演 B を以下のように開催致しました。

研修会名：日本歯周病学会歯科衛生士教育講演 B
(社団法人日本歯科衛生士会第3次生涯研修)

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会(歯科衛生士関連委員会)

協力：社団法人 和歌山県歯科衛生士会

日時：平成23年8月28日(日) 10:00~15:30

場所：和歌山県歯科医師会館 1階 大会議室
(和歌山市築港1-4-7 電話073-428-3411)

演題：①歯周病を知ろう！

(原因、病状の説明に必要な知識(組織学、病理学、細菌学等)、分類、特徴、多様性と再発の危険性等)

- ②プラークコントロール(モチベーション)に必要な知識と技術
- ③SPTとメンテナンスの実際

講師：①、②日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員 鈴木 丈一郎先生
③日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 前委員 平野 治朗先生

研修単位：①②の両方に該当する場合は、①②それぞれの単位取得が可能

①日本歯周病学会 会員の場合

- ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位(参加者8単位)
- ・更新時の生涯研修単位(10単位)

②日本歯科衛生士会 会員の場合

- ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位(歯周治療の基本技術・プログラム 4単位)

I-A 初診時に必要な知識と技術

歯周病とは(分類、特徴、多様性と再発の危険性等) / 1単位

III-C モチベーションに必要な知識と技術

プラークコントロールの考え方、原因、病状の説明に必要な知識
(組織学、病理学、細菌学等) / 2 単位

IV-F SPT・メンテナンスに必要な知識と技術

SPT・メンテナンスの実際 / 1 単位

日程 :

9 : 30 受付

10 : 00 開会・挨拶 北村浩美 和歌山県歯科衛生士会会長

10:10~10:30 認定歯科衛生士申請・更新の説明(鈴木委員)

10:30~12:00 講演『歯周病を知ろう！(原因、病状の説明に必要な知識
(組織学、病理学、細菌学等)、分類、特徴、多様性と再発の危険
性等)』(鈴木委員)

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:00 講演『プラークコントロール(モチベーション)に必要な知識と
技術』(鈴木委員)

14:00~15:00 講演『SPTとメンテナンスの実際』(平野前委員)

15:00~15:30 質疑応答 閉会

内容 :

受講生は、148名(内33名が学生)の歯科衛生士及び歯科衛生士学校教員であつた(内16名が日本歯周病学会認定歯科衛生士取得者)。他県からの受講生は、大阪11名、東京6名、滋賀・奈良・兵庫4名、京都・岐阜2名、千葉・長野・愛知・三重・愛媛・沖縄1名であつた。会を重ねるにつれて、本会の受講生は近隣の県のみならず、全国規模で参加している傾向が強くなっていると思う。

始めに、和歌山県歯科衛生士会会長の挨拶の後、午前中は、まずプロローグとして、鈴木委員が日本歯周病学会認定歯科衛生士の申請・更新の説明を行い、引き続いて『歯周病を知ろう！』と題し、歯周病の原因、病状の説明に必要な知識(組織学、病理学、細菌学等)、分類、特徴、多様性と再発の危険性等)についての講義を行った。午後の前半部分は、鈴木委員による『プラークコントロール(モチベーション)に必要な知識と技術』と題した実際の臨床に役立つプラークコントロールに関わる講義を、後半部分は、平野前委員による『SPTとメンテナンスの実際』と題した、実践的な内容を踏まえた講義を行った。その後、質疑応答を行い閉会となった。

感想 :

和歌山県はこのような大規模な歯科衛生士のための講演会を行う機会がなく、

今回は基礎的なことから学びたいということで上記のテーマで講演会を企画したとの事であったが、近隣の県からも多数の参加があり有意義な講演会になったと思う。運営に関しても慣れていないにもかかわらず、手作り感が強くアットホームな感じで、講演する側もとても気持ちよく講演ができました。この誌面をおかりしまして、関係各位に御礼申し上げます。専門学校の学生たちも基礎知識に関しては学習した範囲であったので理解が深まり、実際の臨床例を見ることにより教育効果があったのではないかと感じている。

講演後のアンケート結果から、資料の配付を希望している参加者が多く、講演内容のハンドアウトの配布を検討する必要があるように思う。咬合診査、エックス線写真読影などの具体的な項目の講義・実習の要望も多く、同項目の必要性が感じられた。また、症例報告の希望もあり、今後は現地の認定歯科衛生士による症例発表、ポスター発表のような形式も取り入れる必要性を改めて感じられた。また、学生が参加した場合には、学生に対するアンケートも行い、本講演の教育効果を検討するのもよいのではないかと思う。

受講後、認定歯科衛生士を取得したいと希望する者は20名(13.5%)であった。

以上
文責

日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員 鈴木丈一郎



受付



会場



講演



運営スタッフ